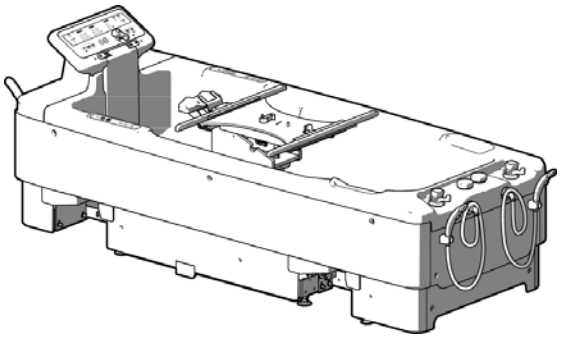
SAKAImed

シルフィード

SYB-100C／100R／100L

取 扱 説 明 書



●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

ご使用になる前に……2
安全上のご注意……2
各部の名称……11
組み合わせ……16
始業点検について……17
入浴剤、薬液の使用について……19
操作方法……20
電源の操作……20
お湯をはる……22
・排水栓を閉じる……22
・自動給湯で給湯する……23
・さし湯で給湯する……24
給湯が停止した場合……25
チルト機構……26
入出浴作業……27
・浴槽へ連結する（ストレッチャー）……27
・浴槽へ連結する（洗浄台）……29
・担架を浴槽内へ移動する……31
・浴槽を上昇させ入浴する……32
・入浴時間表示の見方……33
・浴槽を下降させ出浴する……34
・担架をストレッチャー／洗浄台へ移動する……35
・ストレッチャーを分離する……36
・洗浄台を分離する……37
ハンドシャワーの使い方……38
気泡浴の使い方……40
塩素殺菌……41
・浴槽殺菌……41
・浴槽水殺菌……42
薬液補充について……43
手動での殺菌方法……46
非常時の操作……47
日常のお手入れ……49
清　掃……49
メンテナンス……50
このようなときは……51
機器について……55
保守・点検について……55
保証とアフターサービス……56
仕　様……58

用 途

本製品は、介助を必要とする入浴者を担架に寝かせた状態で、快適かつ容易に入浴させることのできる入浴装置です。

特 長

●充実の安全機構

温度管理システム、担架スライド防止装置、浴槽の上昇下降時には水没や、担架操作の誤りを防ぐための仕組みを備えており、入浴される方の安全を全方向から守ります。

●見やすいメイン操作部

浴槽から独立したメイン操作部には、入浴作業の一連の動作中に知りたい情報を見やすい角度で大きく表示しています。

本書に記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠ 危険	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負うことに至る」**ことを示しています。
⚠ 警告	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**ことを示しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると、**「傷害または物的損害の発生が想定される」**ことを示しています。

絵表示の意味

⃠ 禁止	行為を禁止することを示した表示です。
❗ 強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

その他の表示

お願い	製品を使用する上で留意していただくことを示した表示です。
参考	参考にしていただくことを示した表示です。

電源・給湯水圧

⚠警告

電源の接続および修理は行わないこと

正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

給湯・給水の接続および修理は行わないこと

正しく接続しないと水もれ等の故障や事故の原因になります。

給湯水圧は適正圧力および適正圧力比の範囲内であること

湯・水の適正使用範囲は、
・使用圧力･･･200kpa（2.0 kg/㎠）以上、300kpa（3.0 kg/㎠）以下
・最大差圧･･･100kpa（1.0 kg/㎠）以内（給水圧の方が高いこと）
・最大圧力比･･･2：1
・流量･･･毎分 20ℓ以上

適正範囲を外れると給湯やシャワーの湯温が変動し、やけどをする恐れがあります。

配管の破損や水もれが発生する恐れがあります。

⚠注意

使用電圧は三相 200V ±5%の範囲内で使用する

使用電圧が指定範囲外の場合、機器の故障および誤作動の原因となります。

入浴剤

⚠注意

硫黄成分の入った入浴剤は、使用しない

ご使用になると、浴槽の金属部が腐食等を起こしたり、浴槽表面の光沢を失ったりする恐れがあります。

粉末状の入浴剤は使用しない

ご使用になると、溶け残ったものが配管内に付着して故障の原因になる恐れがありますので、入浴剤は液状のものを使用してください。
どうしても粉末状の入浴剤を使用したい場合は、別容器でよく溶かしてから使用してください。
ただし、粉末状の入浴剤を使用したことによる故障については、保証期間内の製品でも保証対象となりませんのでご注意ください。

着色剤が入った入浴剤を使用する際は注意する

色や、においが付くことがありますのでご注意ください。

入浴

⚠警告

入浴前に、浴槽内の湯温を「浴槽内湯温」表示と手で確認
やけどの恐れがあります。

給湯やさし湯をするときは、「給湯温度」表示と手で湯温を確認
給湯、給水の圧力の急変により、一時的に給湯温度が急に変わる恐れがあります。

入浴中に高温のさし湯をするときは、入浴者の足先にかからないように注意
やけどの恐れがあります。

入浴中は入浴者の状態を常に看視すること
入浴中に入浴者の姿勢が崩れた場合、水没する恐れがあります。

入浴スイッチを押す前に、担架の固定を確認
担架を浴槽に移動したら、確実に固定しているか担架を押し引きして確認してください。

⚠注意

入浴スイッチを押す前に、浴槽内に不要物がないことを確認
浴槽の中などに手桶やタオル等があると、挟み込み等を起こし故障の原因になります。

出浴

⚠警告

浴槽を下降させるときは、入浴者の状態に注意
担架上から手足がはみ出ていた場合、浴槽下降時に身体を挟み込む恐れがあります。

⚠注意

浴槽を下降させるときは、浴槽の周囲に物がないことを確認
ラックや手桶等があると、浴槽が下降する際に床との間に挟み込んで破損の原因になります。

担架上の作業

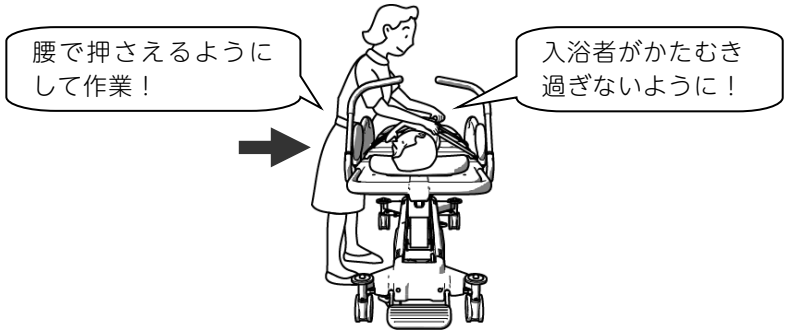
⚠警告

担架上での移乗・洗髪・洗身作業時は、入浴者の落下に注意

- 担架上での体位変換作業は、作業の反対側のサイドフェンスを起こしたまま行ってください。
- 安全ベルトを外したときには、入浴者から離れないでください。

洗身作業などで入浴者を側臥位にする場合は、担架やサイドフェンスを腰で押さえる

ストレッチャーの転倒を予防します。



ストレッチャー／洗浄台の「連結」操作

⚠警告

ストレッチャー／洗浄台を浴槽へ連結した後は、連結完了ランプの点灯を確認

連結が不十分だと、担架の脱落などの原因になります。

ストレッチャー／洗浄台を浴槽に連結した後は、キャスターをロック

キャスターがロックされていないと、担架の脱落などの原因になります。

担架移動レバーは、浴槽とストレッチャー／洗浄台の連結を確認するまで操作しない

連結が不十分な場合、担架が落下する恐れがあります。

⚠注意

ストレッチャーを浴槽へ連結するときは、ストレッチャーを上限まで上昇させる※

ストレッチャーを上限まで上昇させていない状態で、担架を浴槽内へ移動すると、浴槽に担架が当たり、担架や浴槽が破損する恐れがあります。

※高さ調節式ストレッチャー（SST-110）のみ

ストレッチャー／洗浄台の「分離」操作

⚠注意

⃠ **解除ペダルには無理な荷重をかけない**

ペダルのフレームが変形や破損する恐れがあります。

⃠ **担架がストレッチャー/洗浄台に固定したことを確認するまで、解除ペダルを踏まない**

万一の担架脱落事故を防止します。

❗ **浴槽からストレッチャーを分離する際は、平行に引く**

片側のフックのみ連結させる・引き離すような動作を無理に行うと、機器を破損する恐れがあります。

❗ **浴槽からストレッチャーがうまく分離できない場合、無理にペダルを踏みつけず再度連結してから改めて分離操作を行う**

うまく分離できない（片側のフックのみ外れる等）場合に無理な操作を行うと、機器を破損する恐れがあります。

担架の移動

⚠警告

担架を移動するときは、ストレッチャーを上限まで上昇させること※

ストレッチャーと浴槽のレールの高さが合っていないと、担架が脱落する恐れがあります。

担架の移動は、最後まで手を添えてゆっくりと行う

移動中に手を離すと固定時の衝撃が強く、入浴者に不安感を与えてしまいます。
繰り返し勢いよく担架を押すと、担架が破損し落下事故の原因になります。

担架を浴槽またはストレッチャー／洗浄台に移動した後は、担架を押し引きして固定を確認

担架が固定していない状態で、ストレッチャー／洗浄台を切り離すと、担架が脱落する恐れがあります。

介助者の手の挟み込みに注意

担架をストレッチャー／洗浄台、または浴槽へ移動する際には、担架面の裏側に手を入れないでください。手が挟まれけがをする恐れがあります。

⚠注意

レール台の上に物を置かない

担架を浴槽内へ移動するときに、挟み込み等を起こして思わぬ故障の原因になります。

※高さ調節式ストレッチャー（SST-110）のみ

ハンドシャワー

⚠警告

入浴者にハンドシャワーをかけたままの状態で離れない

介助者が離れている間に温度が急変した場合、やけどをする恐れがあります。

入浴者にハンドシャワーをかけるときは常に手で温度を確認

- 熱い湯が配管内に溜まっている場合がありますので、確認する前に安全な所に吐水して、最初の湯は捨ててください。
- 温度調節ハンドルを回した後、設定温度になるまで数秒かかることがあります。
- 使用中であっても、給湯・給水の水圧変化により、シャワーの温度が急に変わることがありますので常に確認してください。

ハンドシャワーで高温の湯を使用した後は、温度調節ハンドルを 40℃前後に戻す

- 高温側のままにすると、次に使用するときにやけどをする恐れがあります。
- 低温側に回して、適温になるまで湯を流してください。

ハンドシャワーの温度を上げるときは、調節ハンドルをゆっくり回す

急に回すと必要以上に温度が上昇して、やけどをする恐れがあります。

⚠注意

流量調節ハンドルはゆっくり回す

止まる側に急に回すと、水圧が高くなり配管から水もれを起こす原因になります。

シャワーの開閉ボタンを「開く」の状態にしたまま、流量調節ハンドルでシャワーを止める

開閉ボタンにて長時間止水させた場合、水もれする恐れがあり、シャワーヘッドの寿命が短くなります。

塩素殺菌（オプション搭載時）

⚠危険

次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いたりしない

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。万一塩素ガスを吸い込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠警告

誤って薬液を飲んだり、目に入ったりした場合は、応急処置後、医師に相談する

- 飲み込んだときは吐かせずに多量の水や牛乳を飲ませ、「次亜塩素酸ナトリウム」を飲んだことを伝え医師に相談してください。
- 万一目に入ったときはすぐにきれいな水で 15 分以上洗い流し、医師の診察を受けてください。

⚠注意

弊社指定外の薬液を使用しない

弊社指定外の薬液を使用すると、浴槽の金属部や電気部品、ゴム部品等を腐食させる恐れがあります。弊社指定以外の薬液のご使用により装置が故障した場合は、保証期間内の製品でも、保証対象となりませんのでご注意ください。

薬液補充の際は下記事項に注意する

- 十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を着用してください。
- 周囲に薬液がこぼれた場合は水でよく洗い流してください。床やフレーム等の変色や錆の原因となります。
- 浴槽を最下位まで下げた状態で行ってください。
- 希釈した薬液は、1 回毎に使い切り、作り置きはしないでください。
- 空になった容器は、よく洗って保管してください。

タンクへの補充薬液は濃度が 1.5%のものを使用する

濃度が異なる薬液の使用は、殺菌効果への影響や、機器の故障につながります。

使用期限内の薬液を使用する

薬液は、経時変化により殺菌効果が弱くなります。容器に表示されている使用期限内でご使用ください。

薬液が誤って人体または衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流す

薬液が皮膚、または衣類についたときはぬめり感がなくなるまで洗い流してください。薬液が衣類につくと、強い漂白力があり脱色しますので注意してください。

薬液の排出の際は注意する

- 十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を着用してください。
- 排出する薬液は濃度を水で十分に薄めてから処理してください。
- 浴槽を最下位まで下げた状態で行ってください。

使用後

⚠注意

メイン操作部、入出浴操作部に水をかけない

水がかかると電気系統の故障の原因になります。

使用後は、浴槽内の湯を排水する

水垢などが浴槽にこびりつき、汚れが落ちにくくなるので、浴槽内のお湯を必ず排水して清掃してください。

使用後は、換気を行い室内の湿度を下げる

湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

使用後は電源スイッチで電源を切ってから、浴室外にある本製品専用のスイッチを切る

メイン操作部の電源を切る前にスイッチを切ると、故障の原因になります。

その他

⚠注意

付属のシリコングリスを使用する

弊社指定以外のグリスを使用すると、故障の原因になります。

心臓用ペースメーカーを使用している方を入浴させるときは、医師に相談する

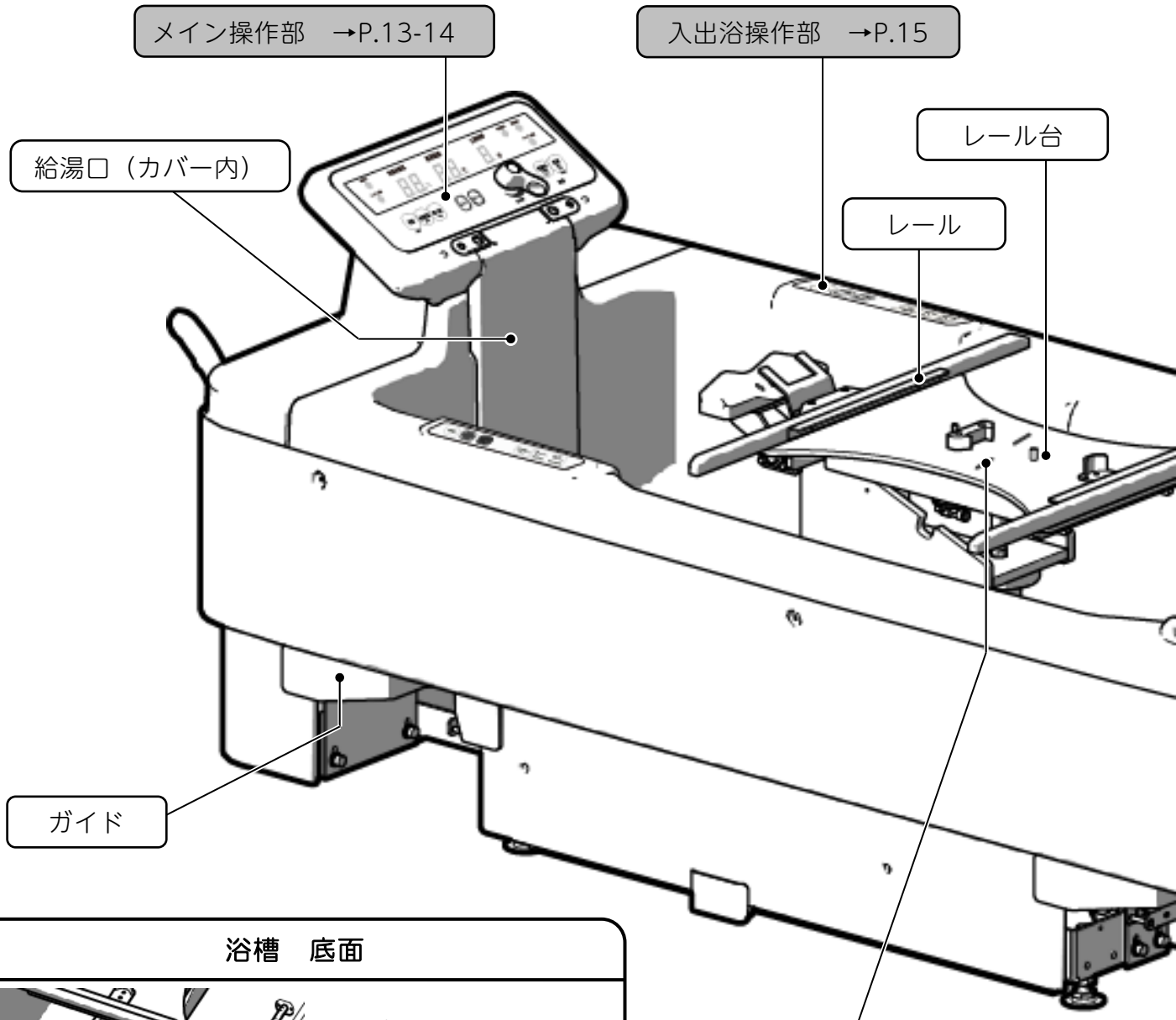
本製品が、ペースメーカーに影響を与えることがあります。

ご使用になる前に

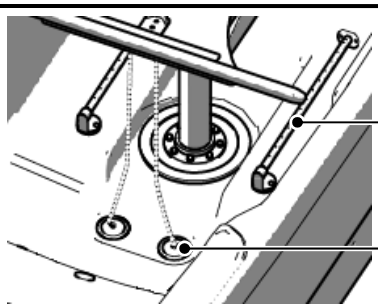
各部の名称

浴槽本体：センタータイプ

(R/L タイプは入出浴操作部、シャワー水栓、ハンドシャワーが片側のみとなります)



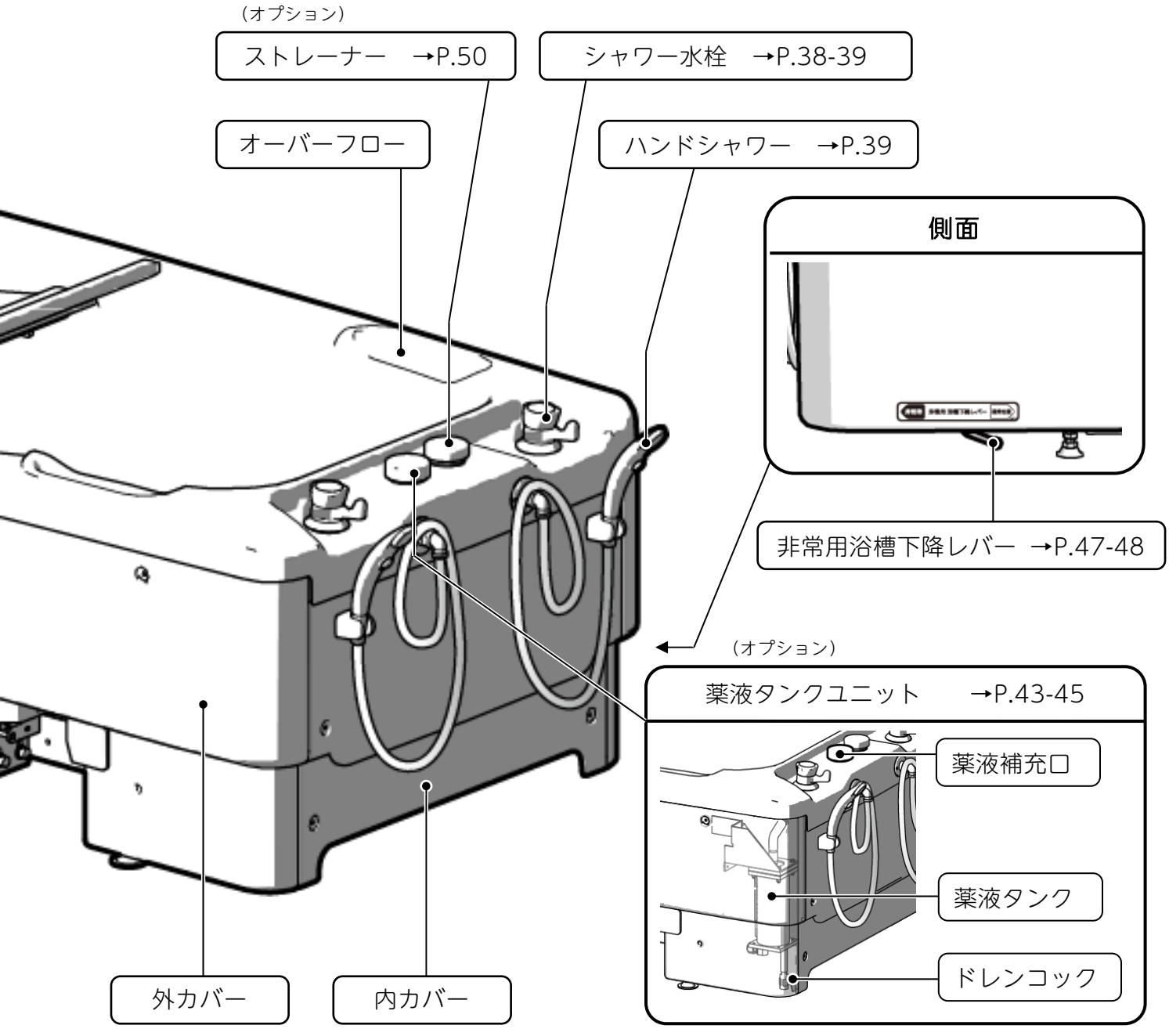
浴槽　底面



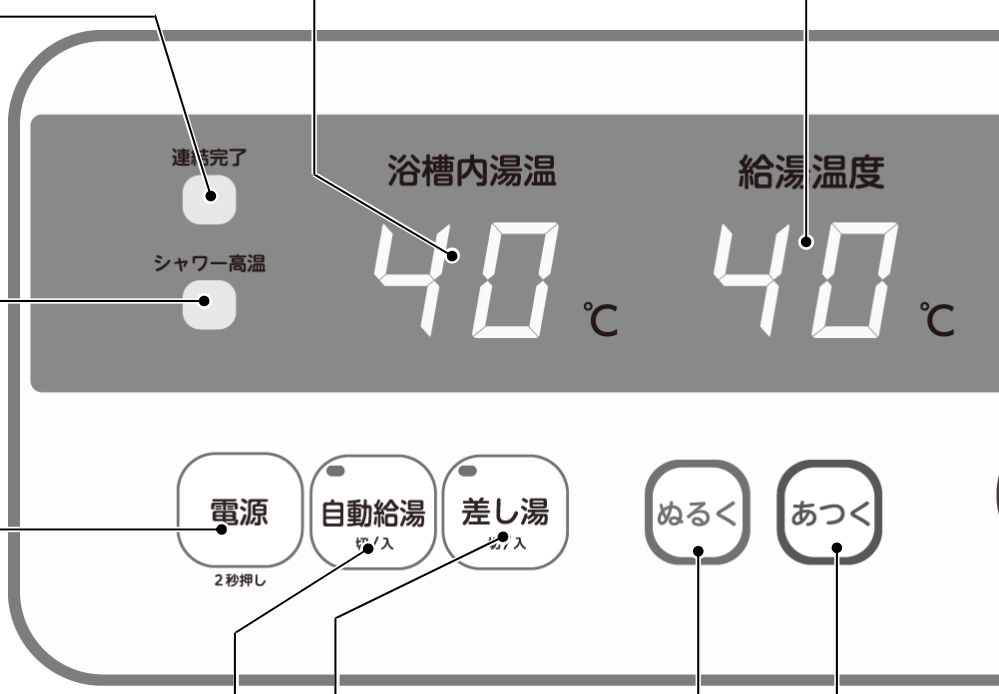
(オプション)

気泡発生管　→P.40

排水栓　→P.22


（オプション）
ストレーナー　→P.50
シャワー水栓　→P.38-39
オーバーフロー
ハンドシャワー　→P.39
側面
非常用浴槽下降レバー　→P.47-48
（オプション）
薬液タンクユニット　→P.43-45
薬液補充口
薬液タンク
ドレンコック
外カバー
内カバー

メイン操作部



浴槽内湯温表示

浴槽内の湯温を表示します。

給湯温度表示 →P. 23-24

浴槽への給湯温度、または設定温度を表示します。
44℃以上…点滅

連結完了ランプ →P. 28、30

浴槽とストレッチャー/洗浄台の連結が完了すると、緑色に点灯します。

シャワー高温ランプ →P.39

ハンドシャワーの温度が 43℃になると、赤く点滅します。

電源スイッチ →P. 20-21

電源の切／入ができます。

自動給湯スイッチ →P. 23、25

押すごとにお湯はりの切／入ができます。
お湯はり中はランプが緑色に点灯し、完了すると消灯します。

ぬるくスイッチ →P. 23-25

押すごとに給湯温度設定を 1 ℃ずつ下げることができます。

差し湯スイッチ →P. 24、25

押すごとにさし湯の切／入ができます。
作動中はランプが緑色に点灯します。

あつくスイッチ →P. 23-25

押すごとに給湯温度設定を 1 ℃ずつ上げることができます。

入浴時間表示　→P. 33

入浴の経過時間を表示します。

（オプション）

薬液補充ランプ　→P. 43

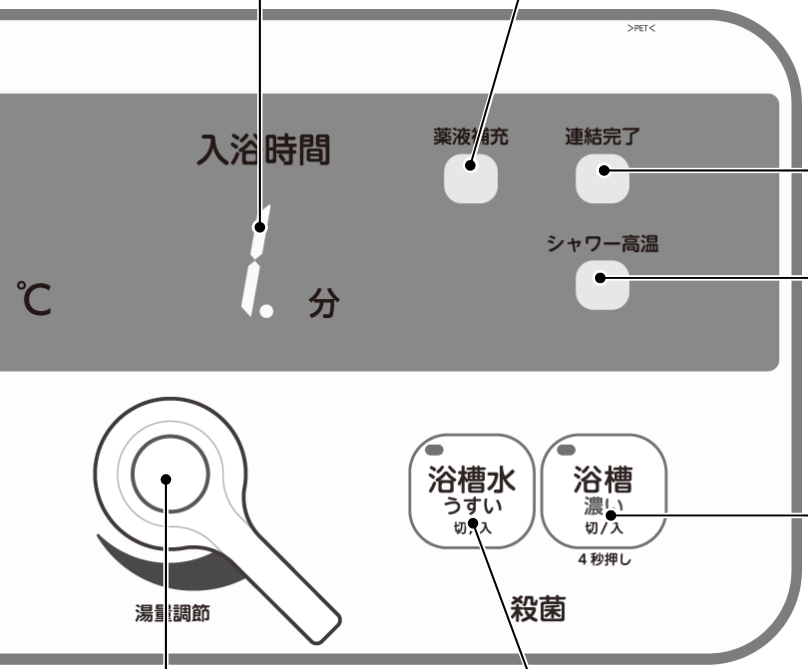
薬液の残りが少なくなると赤く点灯します。

連結完了ランプ　→P. 28、30

浴槽とストレッチャー/洗浄台の連結が完了すると、緑色に点灯します。

シャワー高温ランプ　→P.39

ハンドシャワーの温度が 43℃になると、赤く点滅します。



（オプション）

浴槽殺菌スイッチ（濃い）　→P. 41

浴槽の殺菌を開始します。
作動中はランプが緑色に点灯します。

（オプション）

浴槽水殺菌スイッチ（うすい）　→P. 42

浴槽水の殺菌を開始します。
作動中はランプが緑色に点灯します。

給湯・さし湯 湯量調節レバー　→P. 23、24

給湯とさし湯の湯量を調節します。

入出浴操作部

（※気泡浴装置はオプション扱いとなります）

（絵はセンタータイプのメイン操作部向かって右側および R タイプの入出浴操作部です。センタータイプのメイン操作部向かって左側および L タイプはスイッチの配置が異なります）

チルト戻すスイッチ →P. 26

押している間担架が上がります。
上限でランプが緑色に点灯します。

チルトさせるスイッチ →P. 26

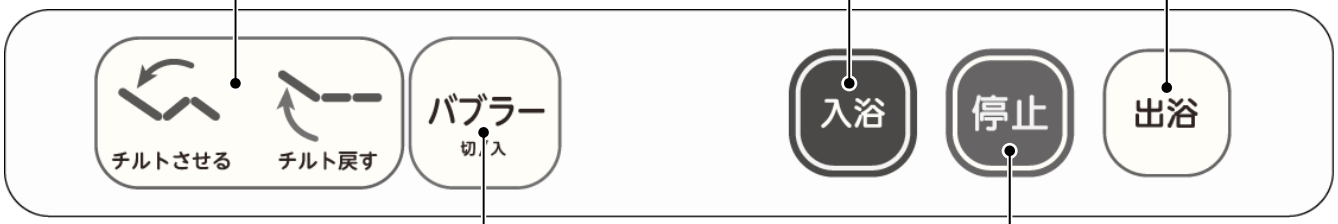
押している間担架が下がります。
下限でランプが緑色に点灯します。

入浴スイッチ →P. 32

浴槽上昇（入浴）を開始します。

出浴スイッチ →P. 26、34

浴槽下降（出浴）を開始します。
チルトを上限まで戻します。



バブラースイッチ※ →P. 40

押すごとに気泡浴の切／入ができます。
作動中はランプが緑色に点灯します。

停止スイッチ →P. 32、34

昇降（入出浴）を停止します。

ご使用になる前に

組み合わせ

浴槽の種類

浴槽には、左右にストレッチャー／洗浄台が連結できるセンタータイプと、右側または左側のみのＲタイプ、Ｌタイプがあります。
オプションには気泡浴装置・塩素殺菌装置・水処理システムがあります。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="3"></td><td colspan="4">機能</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ハンドシャワー
シャワー水栓
入出浴操作部</td><td colspan="3">オプション</td></tr>
<tr><td>気泡浴装置
(SYB-10)</td><td>塩素殺菌装置
(SYB-20)</td><td>水処理システム
(SYB-30)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">種類</td><td>センタータイプ
(SYB-100C)</td><td>左右両側</td><td colspan="3" rowspan="3">オプションは、単体で搭載
または
気泡浴装置と塩素殺菌装置、あるいは
気泡浴装置と水処理システムの
組み合わせで搭載されます。</td></tr>
<tr><td>Ｒタイプ
(SYB-100R)</td><td>右</td></tr>
<tr><td>Ｌタイプ
(SYB-100L)</td><td>左</td></tr>
</table>

※オプション品は、購入時に選択し、搭載されます。

周辺装置(別売り)

担架（スライド式枕タイプ）　・・・SWS-100
担架（バスクッションピロータイプ）　・・・SWS-105
高さ調節式ストレッチャー　・・・SST-110
ストレッチャー　・・・SST-100
洗浄台　・・・SNW-100
着衣ベッド　・・・STY-100

用途に応じて、組み合わせて使用します。
操作方法については、各々の取扱説明書をご覧ください。

ご使用になる前に

始業点検について

ご使用前に**始業点検項目**に基づき、始業点検を実施してください。

①浴槽の周囲に障害物はありませんか？

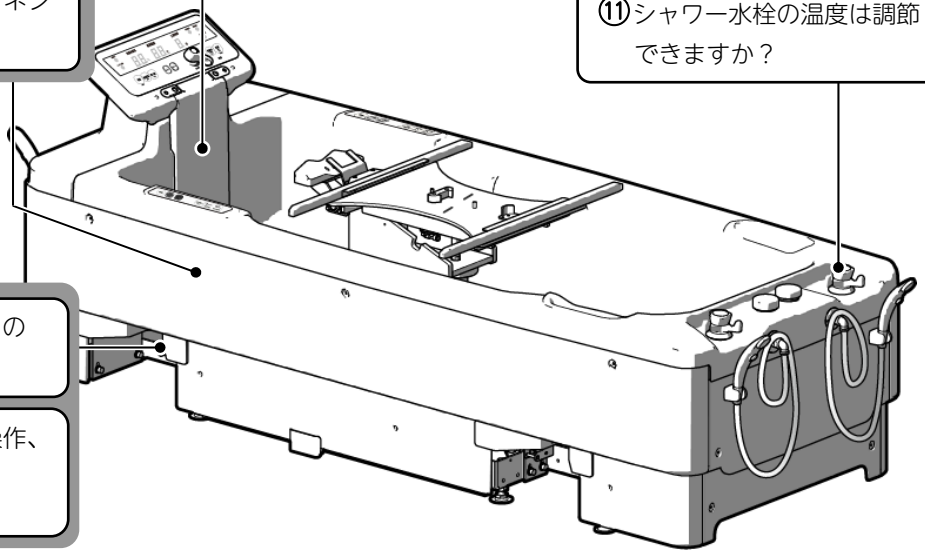
②外カバーの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落はありませんか？

⑬内カバーの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落はありませんか？

④給湯口（カバー内）からの湯の漏れはありませんか？

⑩担架の移動、浴槽の昇降動作に異常はありませんか？

⑪シャワー水栓の温度は調節できますか？



③ガイド部のガタつき、取付ボルトの緩み、脱落はありませんか？

⑨ストレッチャー／洗浄台の連結操作、解除操作に異常はありませんか？
連結完了ランプは点灯しますか？

⑤温度表示・入浴時間表示は点灯していますか？

⑦浴槽内温度表示は浴槽内の湯温と合っていますか？

⑥自動給湯、差し湯の温度表示と実際の湯温は合っていますか？

⑧44℃以上の温度設定で給湯温度表示が点滅しますか？

⑭薬液補充ランプが点灯していませんか？※

⑫シャワーが高温（43℃以上）のときに高温ランプは点滅しますか？

※塩素殺菌装置または水処理システムを搭載している場合

始業点検項目：シルフィード　浴槽（SYB-100）　　点検日　　年　　月　　日

	項目	点検内容	点検方法	チェック	備考
電源投入前	①	障害物の有無	目視	□ OK・□ NG	
	②	外カバーの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視	□ OK・□ NG	
	③	ガイド部のガタつき、取付ボルトの緩み、脱落	目視	□ OK・□ NG	
	④	給湯口からの湯の漏れ	目視	□ OK・□ NG	
電源投入後	⑤	温度表示・入浴時間計の点灯	目視	□ OK・□ NG	
	⑥	給湯中の温度表示	・手を給湯水にあてて湯温を確認し、表示温度と比較 ・給湯温度設定を高温、低温にし、給湯水の温度が追従するか確認	□ OK・□ NG	
	⑦	浴槽内湯温表示の表示内容確認	水深 25 ㎝程度まで給湯し、手で槽内の湯が適温であることを確認し、表示と比較	□ OK・□ NG	
	⑧	高温時の警告	高温側(44℃以上)に設定し、給湯温度表示の数字が点滅することを確認 **(確認後、40℃前後の適温に戻すこと)**	□ OK・□ NG	
	⑨	連結動作	・ストレッチャー/洗浄台をガイドに押し当て、連結動作に問題ないことを確認（連結後、連結完了ランプの点灯を確認） ・ストレッチャー/洗浄台の解除ペダルを踏み、連結が解除できることを確認（連結完了ランプの消灯を確認）	□ OK・□ NG	
	⑩	担架の移動および浴槽の昇降動作	・担架を浴槽に移動して固定し、入浴スイッチを押して、浴槽の昇降動作に異常が無いことを確認。 ・昇降動作中に異音が発生しないことを確認。 ・担架をストレッチャー/洗浄台に戻すときに担架が脱落しないことを確認。	□ OK・□ NG	
	⑪	シャワー水栓の温度調節	シャワーを出しながら温度調節ハンドルを回し高温低温の調節が可能か手で確認 **(確認後、40℃前後の適温に戻すこと)**	□ OK・□ NG	
	⑫	シャワー高温ランプの確認	シャワーを出しながら温度調節ハンドルを高温側に回し、ランプが点滅することを確認 **(確認後、40℃前後の適温に戻すこと)**	□ OK・□ NG	
	⑬	内カバーの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視	□ OK・□ NG	
	⑭※	薬液の量	薬液補充ランプの消えていることを確認	□ OK・□ NG	

※塩素殺菌装置または水処理システムを搭載している場合

これ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになっていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所までご連絡ください。
故障した場合は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）してください。

ご使用になる前に

入浴剤、薬液の使用について

入浴剤について

入浴剤は液状のものを使用してください。

入浴剤を使用する場合は、入浴剤の使用上の注意をよく読んで、浴槽（FRP）や配管等に悪影響を及ぼすような成分(硫黄等)の入った入浴剤は使用しないでください。

⚠注意　**・硫黄成分の入った入浴剤は、使用しない**

ご使用になると、浴槽の金属部が腐食等を起こしたり、浴槽表面の光沢を失ったりする恐れがあります。

・粉末状の入浴剤は使用しない

ご使用になると､溶け残ったものが配管内に付着して故障の原因になる恐れがありますので、入浴剤は液状のものを使用してください。

どうしても粉末状の入浴剤を使用したい場合は､別容器でよく溶かしてから使用してください。**ただし、粉末状の入浴剤を使用したことによる故障については、保証期間内の製品でも保証対象となりませんのでご注意ください。**

・着色剤が入った入浴剤を使用する際は注意する

色や、においが付くことがありますのでご注意ください。

薬液について　（塩素殺菌装置または水処理システムを搭載の場合）

本製品の塩素殺菌装置または水処理システムは、次亜塩素酸ナトリウム(1.5%溶液)専用です。

他の薬液を使用したり、他の溶液と混ぜて使用したりしないでください。

推奨品：㈱オーヤラックス製「ピューラックス(濃度 6%)」

（付属の希釈ボトルで次亜塩素酸ナトリウム(濃度 6%)を 4 倍に希釈して使用）

消耗品に関しては、P.56 をお読みください。

⚠危険　**次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いたりしない**

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

操作方法

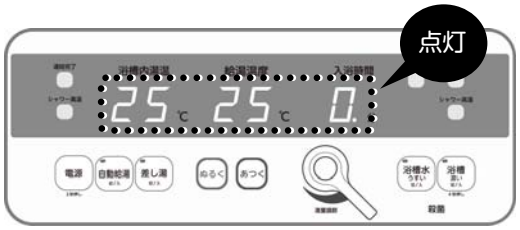
電源の操作

電源を入れる

1 **浴室外にある本製品専用のスイッチを入れます。**

・スイッチを入れると、入浴の準備を開始します。(最長約 50 秒間)
その間、浴槽内湯温表示と給湯温度表示が点滅し、起動中であることをお知らせします。
(点滅中の表示は、温度とは関係ありません)
・点滅が終了すると、機器が使用可能となります。

2 **表示部の点灯を確認します。**

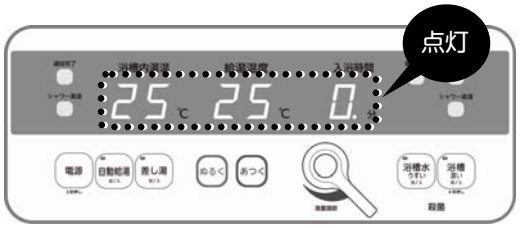


＜電源スイッチにて一時的に表示ランプ類を消灯させている場合＞

1 **電源スイッチを約 2 秒間長押しします。**

・電源スイッチを入れると、入浴の準備を開始します。
(最長約５０秒間)その間、浴槽内湯温表示と給湯温度表示が点滅し、起動中であることをお知らせします。
(点滅中の表示は、温度とは関係ありません)
・点滅が終了すると、給湯機能は使用可能となります。

2 **表示部の点灯を確認します。**



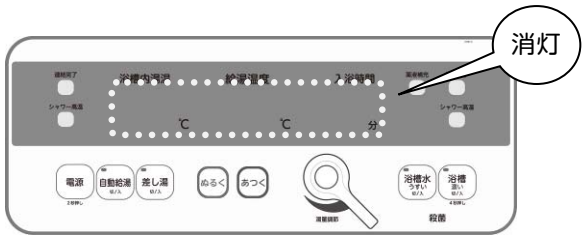
電源を切る

1 電源スイッチを約 2 秒間長押しします。

参考

昼休み等で一時的にメイン操作部の表示ランプ類を消灯させたい場合に、電源スイッチで電源を切ってください。

2 表示部の消灯を確認します。



3 1 日の作業終了後、浴室外にある本製品専用のスイッチを切ります。

⚠注意　使用後は電源スイッチで電源を切ってから、専用のスイッチを切る

操作方法

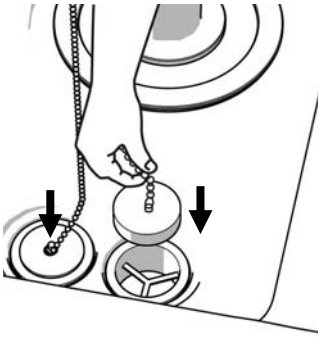
お湯をはる

本製品にはやけど防止のため、高温の湯は給湯を停止し、浴槽内の湯温が高温のときは浴槽を上昇させない温度管理システムが内蔵されています。使用可能な温度範囲は下記の通りです。

<table>
<tr><th></th><th>～35℃</th><th>36℃・・・42℃</th><th>43℃</th><th>44℃・・・45℃</th><th>46℃～</th></tr>
<tr><td>自動給湯</td><td colspan="3" rowspan="2">給湯可能</td><td rowspan="2">給湯可能
(給湯温度表示点滅)</td><td rowspan="2">給湯不可
(実温度　点滅)</td></tr>
<tr><td>さし湯</td></tr>
<tr><td>ハンドシャワー</td><td colspan="2">使用可能</td><td colspan="3">使用可能　(ランプ点滅)</td></tr>
<tr><td>入浴操作</td><td colspan="3">入浴できます</td><td colspan="2">入浴できません(浴槽内湯温表示 点滅)</td></tr>
</table>

排水栓を閉じる

1 **２か所の排水口に排水栓を入れます。**



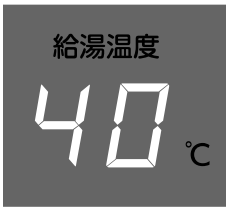
自動給湯で給湯する

自動給湯は、適正水位までお湯をはります。

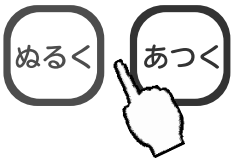
適正水量より少なくなった場合は、もう一度自動給湯スイッチを押すと、適正水量にできます。

少なくなった湯を自動的に補充し続ける機能ではありません。

1 給湯温度表示を見ながらあつく、ぬるくスイッチを押し、お好みの設定温度に設定します。



35℃以下	36℃・・・43℃	44℃・・・45℃	46℃
設定は「ｃ0」 （設定後は実温度表示）	設定可能	設定可能 （給湯温度点滅）	設定不可



参考

・あつく、ぬるくスイッチを操作しているときは、給湯温度表示に、設定温度を表示します。設定終了後は、実際のお湯の温度に切り替わります。給湯していないときは、配管内に溜まっている水の温度を表示します。

・設定温度を「c0」にすると、水に近い温度が給湯されます。

2 湯量調節レバーを湯量が多い側に回します。

・最大量側にしてください。

3 自動給湯スイッチを押します。

・上部の表示ランプが点灯し、給湯口のカバーの下からお湯が出ます。

・再度スイッチを押すと給湯は止まります。

・適正水位（目印）までお湯をはると給湯は停止し、ランプが消灯します。

⚠警告　給湯温度を「給湯温度」表示と手で確認

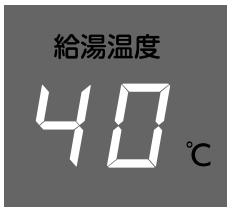
参考

自動給湯で給湯することで、入浴時にオーバーフローする湯量が節約できます。（体格差によります）

さし湯で給湯する

さし湯は水位に関係なく、常にお湯を給湯します。
余分な湯はオーバーフローより排出されます。

1 給湯温度表示を見ながらあつく、ぬるくスイッチを押し、お好みの設定温度に設定します。



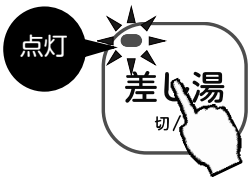
35℃以下	36℃・・・43℃	44℃・・・45℃	46℃
設定は「ｃ0」 (設定後は実温度表示)	設定可能	設定可能 (給湯温度点滅)	設定不可

参考

・あつく、ぬるくスイッチを操作しているときは、給湯温度表示に、設定温度を表示します。設定終了後、実際のお湯の温度に切り替わります。給湯していないときは、配管内に溜まっている水の温度を表示します。
・設定温度を「c0」にすると、水に近い温度が給湯されます。

2 差し湯スイッチを押します。

・上部の表示ランプが点灯し、給湯口のカバーの下からお湯がでます。



・さし湯を止めるときは、もう一度差し湯スイッチを押してください。ランプが消灯し、さし湯が止まります。

⚠警告　さし湯温度を「給湯温度」表示と手で確認

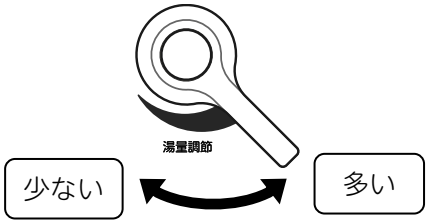
参考

自動給湯中に差し湯スイッチを押した場合、自動給湯のランプとさし湯のランプが点灯します。適正水位まで給湯したら自動給湯のランプは消灯し、さし湯を続けます。

⚠警告　入浴中に高温の湯をさし湯するときは、入浴者の足先にかからないように注意

3 湯量調節レバーで湯量を調節します。

・湯量調節レバーはさし湯と自動給湯を兼ねているため止水できないようになっています。さし湯を止めるときは必ず差し湯スイッチを押して止めてください。



操作方法

給湯が停止した場合

高温の湯（46℃以上）が給湯された場合、温度管理システムが働き、給湯が停止します。

下記の操作を行うことで、給湯を再開することができます。

1 ぬるくスイッチを押し、設定温度を低くします。

2 自動給湯スイッチ、または差し湯スイッチを押します。

・自動給湯の表示ランプ、またはさし湯の表示ランプが点灯し、給湯が開始されます。

お願い

・設定温度を低く設定しても、配管内に高温の湯が残っている場合や浴槽へ接続している配管内の急激な水圧の変動により高温（46℃以上）が約 5 秒間以上続いた場合は、温度管理システムが作動し、再度給湯が停止することがあります。

・自動給湯中、適正水位以下で高温となった場合は上記操作で給湯再開しますが、適正水位付近の場合はそれ以上給湯されません。給湯温度を下げるには、さし湯機能にてお湯を追加してください。

操作方法

チルト機構

担架をチルトさせる

1 **チルトさせるスイッチを押している間、担架の背当てが下がります。**

・背当てと座面が傾き、下がることで深く入浴できます。同時に膝部が折れ曲がりますので、ご注意ください。（チルト状態になります）

2 **任意の位置でチルトさせるスイッチを離す、または下限位置まで下がると停止します。**

・下限位置近くになると上部の表示ランプが点灯します。

> ⚠警告 **・チルト操作中、入浴中は入浴者の状態に注意**
> 水没等がないように、常に看視してください。
> **・チルト中は介助者と入浴者の手を挟みこまないよう注意**

参考

担架を浴槽に入れ、浴槽が上限位置にあるときのみチルトさせることができます。

担架のチルトを戻す

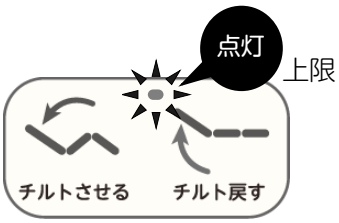
1 **チルト戻すスイッチを押している間だけ、担架の背当てが起き上がります。**

・背当てと座面の傾きが起き上がります。

・膝部が平らになるので、ご注意ください。

2 **任意の位置でチルト戻すスイッチを離す、または上限位置まで起き上がると停止します。**

・上限位置になると上部の表示ランプが点灯します。



参考

チルトさせている状態で出浴スイッチを押すと、背当てと座面が上限位置まで自動的に起き上がり、上限位置まで上がると浴槽が下降します。

操作方法

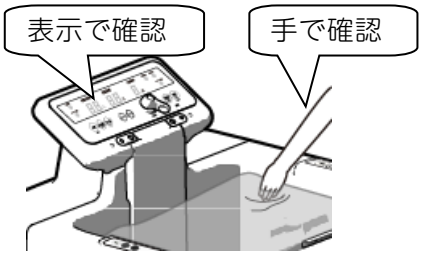
入出浴作業

連結操作は、ご使用の機器により A：ストレッチャーもしくは B：洗浄台を選択してお読みください。分離操作は、P.36～37 をお読みください。

A：ストレッチャーの場合

浴槽へ連結する

1 **浴槽内の湯量と湯温を確認します。**

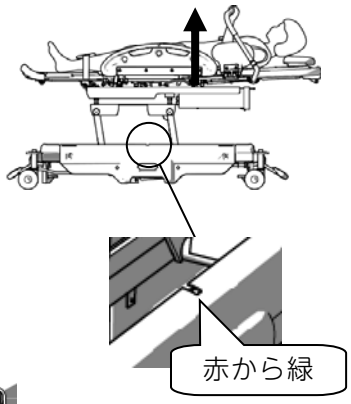


⚠警告　入浴前に、浴槽内の湯温を「浴槽内湯温」表示と手で確認

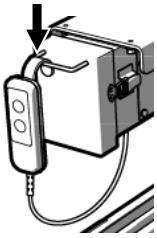
2 **ストレッチャーを上限まで上昇させます。**

（高さ調節式ストレッチャーの場合）

・上限位置をリモコンのお知らせランプと上限マークで確認してください。

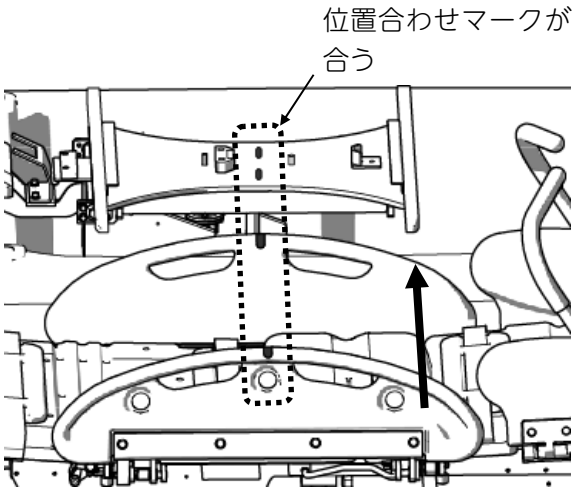


・上昇後はリモコンを、リモコン掛けに掛けてください。



⚠注意　ストレッチャーを浴槽に連結するときは、ストレッチャーを上限まで上昇させる（高さ調節式のみ）

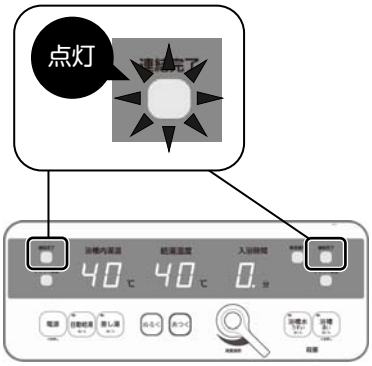
3 **浴槽の青い位置合わせマークを目安に、担架のマークが合うように、ストレッチャーを浴槽側へ押し付けます。**



4 **連結完了後、メイン操作部の連結完了ランプの点灯を確認します。**

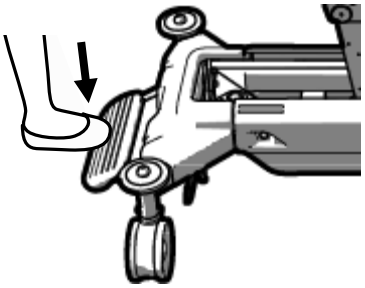
・センタータイプは、左右のうちストレッチャーを連結した側と同じ側のランプが点灯します。

・R、Lタイプは、ストレッチャーを連結すると両方のランプが点灯します。



⚠警告　・ストレッチャーを浴槽へ連結した後、連結完了ランプの点灯を確認
・担架移動レバーは、連結ランプの点灯を確認するまで操作しない

5 **キャスターをロックします。**

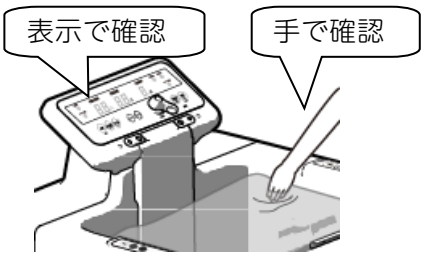


⚠警告　ストレッチャーが浴槽に連結したことを確認してから、キャスターをロック

B：洗浄台の場合

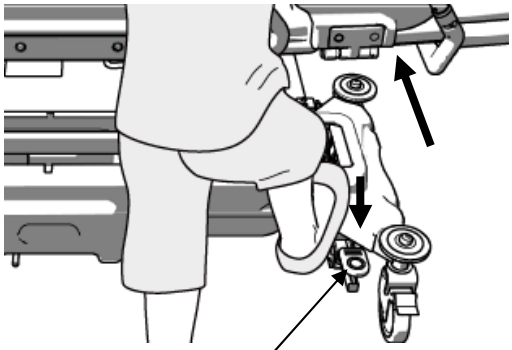
浴槽へ連結する

1 浴槽内の湯量と湯温を確認します。



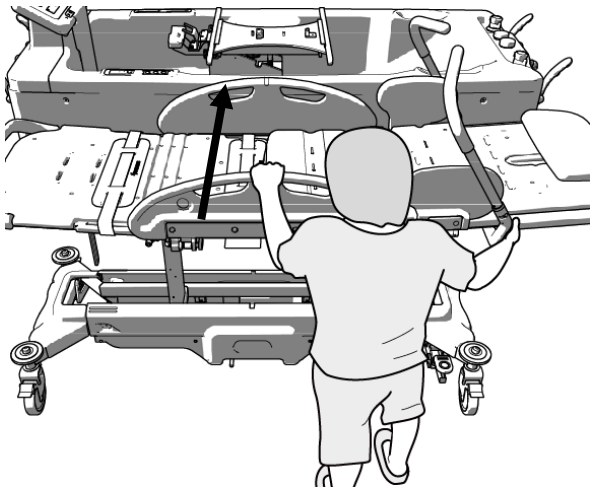
⚠警告　入浴前に、浴槽内の湯温を「浴槽内湯温」表示と手で確認

2 洗浄台の解除ペダルを踏みながら、全体を浴槽方向へ押し出します。



3 少し移動した後、ペダルから足を離し、押しながら止まるまで移動します。

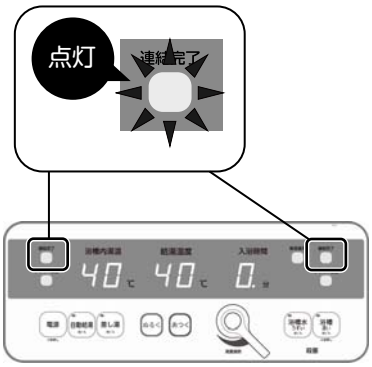
・ストッパーがかかる位置で連結します。



4 メイン操作部の連結完了ランプの点灯を確認します。

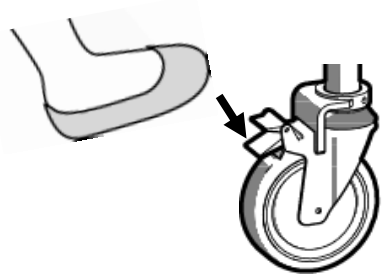
・センタータイプは、左右のうち洗浄台を連結した側と同じ側のランプが点灯します。

・R、L タイプは、洗浄台を連結すると両方のランプが点灯します。



⚠警告 ・洗浄台を浴槽へ連結した後、連結完了ランプの点灯を確認
・担架移動レバーは、連結ランプの点灯を確認するまで操作しない

5 手前 2 か所のキャスターをロックします。

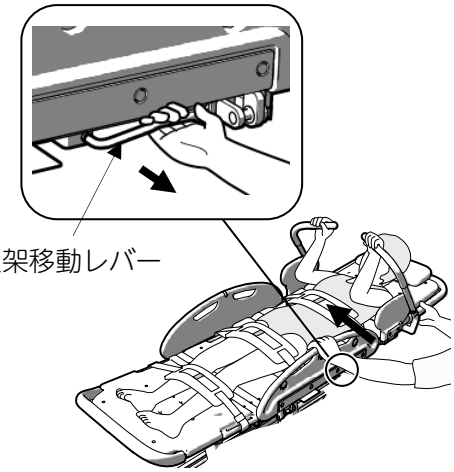


⚠警告 洗浄台が浴槽に連結したことを確認してから、キャスターをロック

担架を浴槽内へ移動する

1 担架移動レバーを手前に引き、担架を浴槽内にゆっくりと移動します。

2 移動を始めたらレバーから指を離します。



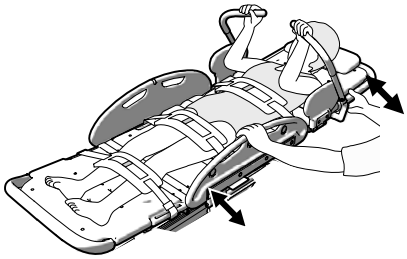
お願い

レバーを引いたままでは、担架が浴槽中央に固定されません。

⚠警告　介助者の手の挟み込みに注意

⚠注意　レール台の上に物を置かない

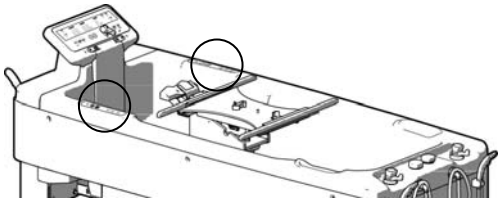
3 移動後、担架が浴槽中央に固定していることを確認します。



⚠警告
- **担架を浴槽に移動し、浴槽中央に固定した後は、押し引きして固定を確認**
- **担架の移動は、最後まで手を添えてゆっくりと行う**

浴槽を上昇させ入浴する

入浴操作は、浴槽フチにある入出浴操作部で行います。
（センタータイプは両側の 2 か所。R/L タイプは片側の 1 か所）



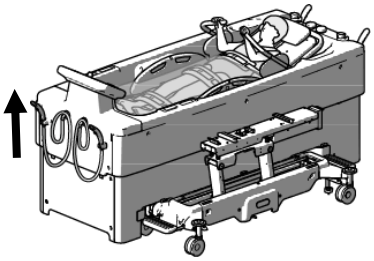
温度管理システムにより、入浴操作ができる浴槽内の温度範囲は下記の通りです。

～43℃	44℃～
入浴できます	入浴できません(浴槽内湯温表示 点滅)

1 入浴スイッチを押します。

・センタータイプはストレッチャー連結側のスイッチを押してください。

・浴槽が上限まで上昇します。連動して、担架の背当てが起き上がります。（約 15 度）



お願い

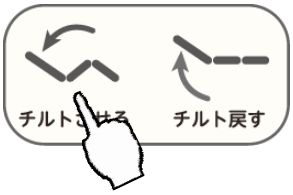
・正しく担架の固定およびストレッチャー/洗浄台の連結した状態のみ、浴槽が上昇します。

途中で上昇を止めたい場合は、停止スイッチを押します。

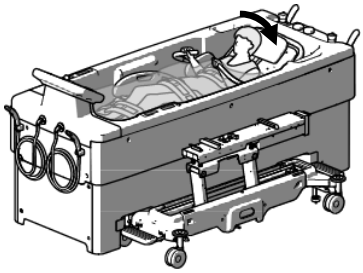
⚠警告　・入浴スイッチを押す前に担架の固定を確認
・入浴中は入浴者の状態を常に看視すること

⚠注意　入浴スイッチを押す前に浴槽内に不要物がないことを確認

2 チルトさせるスイッチを押して、担架の背当てを深く入浴（チルト）させます。



・スイッチを押している間だけ背当てが下がります。
・入浴者の状態に合わせて下げてください。



お願い

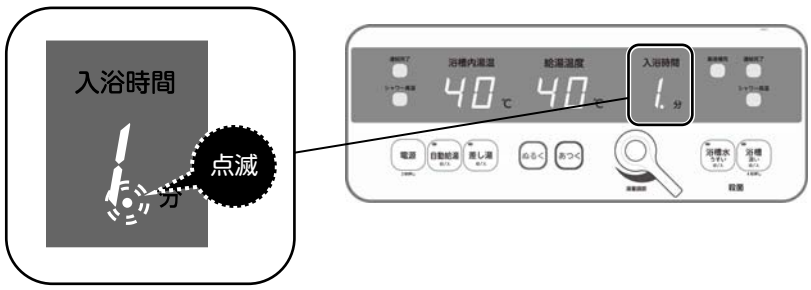
浴槽が上限位置にいないときは、チルトさせることができません。
チルトさせる場合は浴槽を上限にしてください。

参考

・担架の背当てを持ち上げて背当て角度を固定して入浴も出来ます。
・担架の脱落を防止するため、担架を浴槽内へ移動した後は、ストレッチャー/洗浄台は分離できません。浴槽を上昇した後ストレッチャー/洗浄台を分離したい場合は、ストレッチャーまたは洗浄台の取扱説明書の「日常のお手入れ」内「清掃」をご覧ください。分離した場合は、必ず出浴前に連結してください。

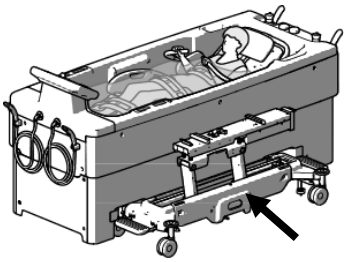
入浴時間表示の見方

浴槽が上昇し始めると、入浴時間の計測が開始されます。
（時間計右下のドット(・)が点滅し計測中であることを知らせます）
0～9 分までは 1 分毎に表示し、10 分以上は、 9. の点滅になります。
出浴操作を行い、浴槽の下降動作が完了すると入浴時間がリセットされ、表示が 0. に戻ります。



浴槽を下降させ出浴する

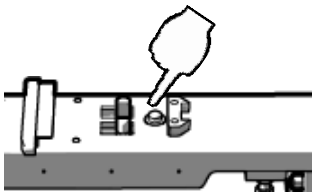
1 出浴する側にストレッチャー／洗浄台が連結していないときは連結します。



・出浴操作前に連結されていることを確認してください。

・連結はストッパー部のボタンを押しながら連結操作をします。

⚠警告　ストレッチャーを上限まで上昇させる



お願い

分離操作を行った場合は、必ずストレッチャー／洗浄台を連結してください。
担架の脱落を防止するため、ストレチャー／洗浄台が連結していないときは、浴槽の下降が途中で一旦停止します。下限まで下降させるには、再度出浴スイッチを押してください。

2 出浴する側の出浴スイッチを押し、出浴します。

・チルトさせたときは、スイッチを押した後、背当てが起き上がり、チルトが戻ってから浴槽が下降します。

・担架の背当てが自動で起き上がっている場合は、浴槽の下降に連動して下がります。

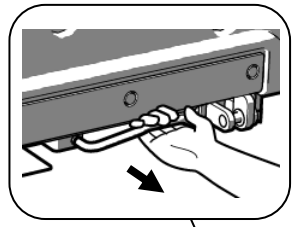
⚠警告　浴槽を下降するときは、入浴者の状態に注意

⚠注意　浴槽を下降するときは、浴槽の周囲に物がないことを確認

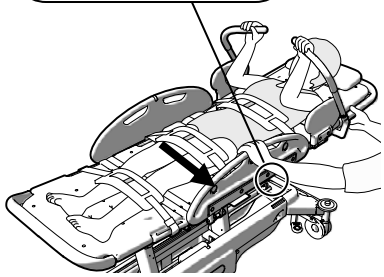
途中で下降を止めたい場合は、停止スイッチを押します。

担架をストレッチャー／洗浄台へ移動する

1 担架移動レバーを手前に引き、担架をストレッチャー／洗浄台の上にゆっくりと移動します。



2 移動を始めたらレバーから指を離します。



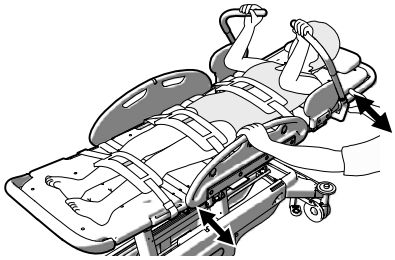
お願い

レバーを引いたままでは、正しい位置に固定されません。

⚠警告　担架を移動し始めたら、必ず担架移動レバーから指を離す

⚠注意　レール台の上に物を置かない

3 移動後、担架がストレッチャー／洗浄台に固定していることを確認します。



⚠警告　・担架をストレッチャー／洗浄台に移動した後は、押し引きして固定を確認
・担架の移動は、最後まで手を添えてゆっくりと行う

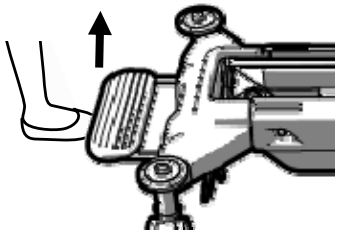
お願い

・担架の脱落を防止するため、担架がストレッチャー／洗浄台に正しく固定していないと、浴槽から切り離すことができません。

A：ストレッチャーの場合

ストレッチャーを分離する

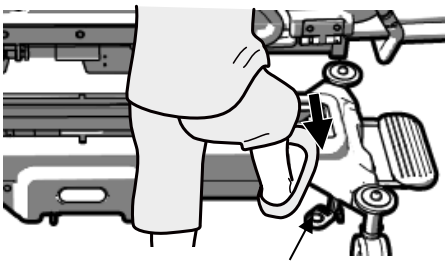
1 ストレッチャーのキャスターロックペダルを跳ね上げ、キャスターのロックを解除します。



2 解除ペダルを踏みながら、全体を浴槽から離す方向に引きます。

・浴槽から分離しストレッチャーが離れます。

⚠警告 ・担架がストレッチャーに固定したことを確認するまで解除ペダルを踏まない



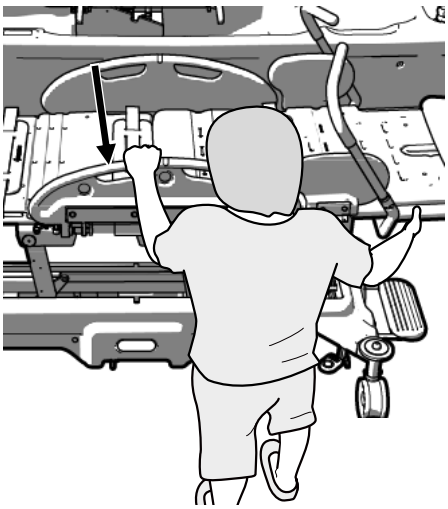
解除ペダル

3 少し移動したらペダルから足を離します。

⚠警告 ・分離後は、速やかにペダルから足を離す

⚠注意 ・浴槽から分離する際は、ストレッチャーを平行に引く

・ペダルには極端な荷重をかけない



お願い

浴槽からストレッチャーがうまく分離できない（片側のフックのみ外れる等）場合は、無理に分離ペダルを踏みつけたりせず、ストレッチャーを浴槽に再度しっかり連結させて、改めて分離操作を行ってください。無理に操作すると機器を破損する恐れがあります。

4 移動した後は、キャスターをロックします。

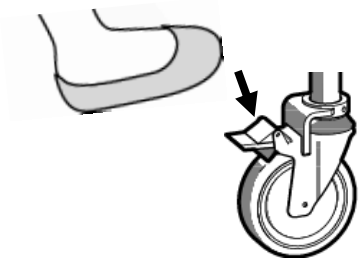
参考

担架がストレッチャー上にないときに分離および連結したい場合は、ストレッチャー取扱説明書の「清掃」をご覧ください。

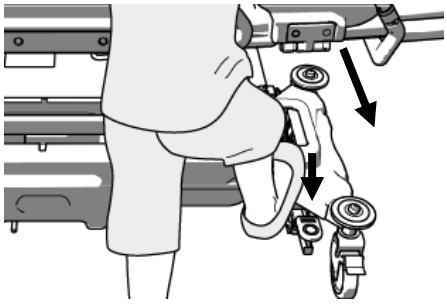
B：洗浄台の場合

洗浄台を分離する

1 洗浄台の手前 2 か所のキャスターのロックを解除します。



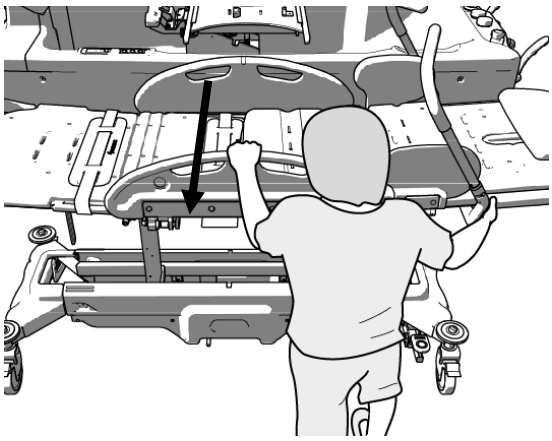
2 解除ペダルを踏みながら、全体を浴槽から離す方向に引きます。



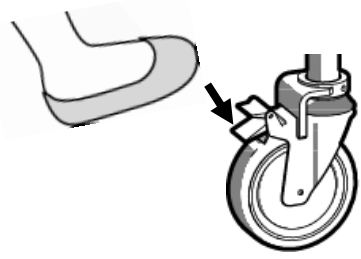
> ⚠警告　担架が洗浄台に固定したことを確認するまでペダルを踏まない

3 少し移動した後、ペダルから足を離し、引きながら止まるまで移動します。

・ストッパーがかかる位置で固定されます。



4 4 か所のキャスターをロックします。



参考

担架が洗浄台上にないときに分離および連結したい場合は、
洗浄台取扱説明書の「清掃」をご覧ください。

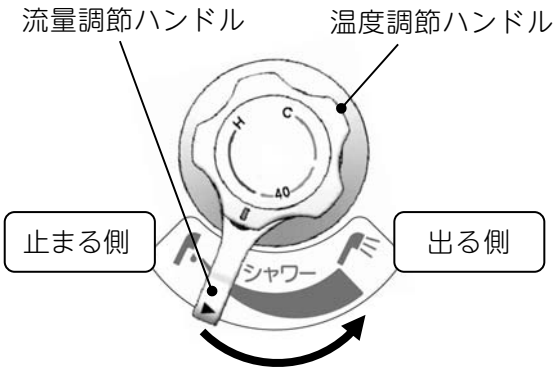
操作方法

ハンドシャワーの使い方

1 流量調節ハンドルで、流量を調節します。

・シャワーヘッドから湯が出始めるので、注意してください。

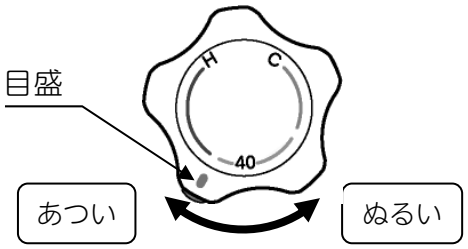
⚠注意　ハンドルはゆっくり回す



2 温度調節ハンドルで、温度を調節します。

・温度調節ハンドルをHの方に回すと温度が上がり、目盛「40」の付近まで調節できます。

・温度調節ハンドルをCの方に回すと温度が下がります。

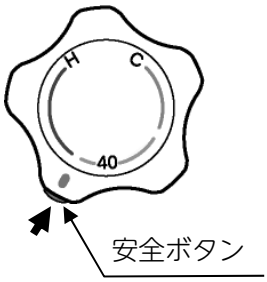


⚠警告　・シャワーを入浴者にかける前だけでなく使用中も絶えず手で温度を確認
・シャワーをかけたままにして入浴者から離れない

高温の湯（約 45℃～）を出すには、安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルで温度を調節してください。

・温度調節ハンドルは誤って高温の湯を出さないように、安全ボタンが付いています。

・やけどを防止するため、通常はハンドルの停止位置より温度の低い範囲でご使用ください。



⚠警告　シャワーで高温のお湯を使用した後は、温度調節ハンドルを適温に戻す

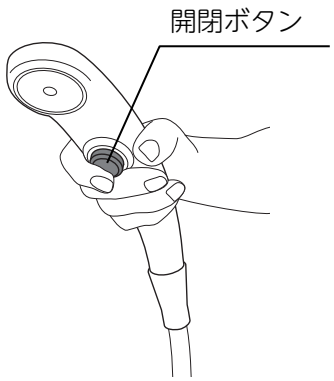
・シャワーの湯温が 43℃以上になった場合は、高温ランプが点滅して、
高温であることを知らせます。

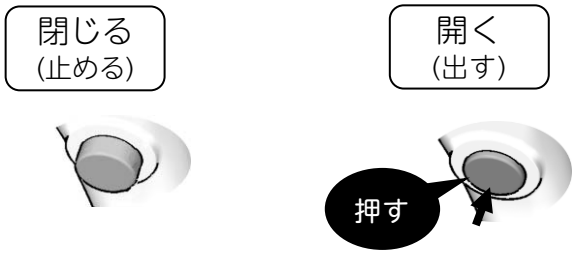
・センタータイプでは、ハンドシャワーの位置（R 側、L 側）に対応して、
それぞれの側のランプが独立して点滅します。

・R、L タイプは、高温になると全てのランプが点滅します。

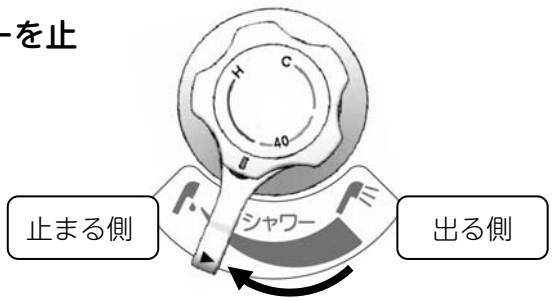
～42℃	43℃～
使用可能	使用可能　（警告ランプ点滅）

一時的にシャワーを止めたい場合は、開閉ボタンを押します。





3 **流量調節ハンドルを止まる側に回し、シャワーを止めます。**



⚠注意　シャワーの使用後は、シャワーの開閉ボタンを「開く」の状態にしたまま流量調節ハンドルでシャワーを止める

操作方法

気泡浴の使い方　※オプション　気泡浴装置付きのみ

1 **バブラースイッチを押します。**

・浴槽の底面の気泡発生管から気泡が出ます。

・上部の表示ランプが点灯します。

2 **停止するときは、バブラースイッチを再度押します。**

・上部の表示ランプが消灯します。

参考

気泡浴は浴槽内に湯がなくても操作可能です。配管内に残った湯を排出するためにご使用頂けますので、P.49 の清掃時の操作と合わせてご利用ください。

お願い

浴槽内に湯が無い状態で気泡浴を使用すると配管内に残った湯が飛び散るので、注意してください。

操作方法

塩素殺菌 ※オプション　塩素殺菌装置または水処理システム付きのみ

浴槽殺菌

適正水位の水量に対して約 1.0ppm 分の量の薬液を吐出し、浴槽と担架を殺菌します。
毎日の入浴作業終了後に行うことをお勧めします。

1 **自動給湯スイッチを押します。**

・適正水位（目印）まで浴槽水があることを確認し、不足している場合は給水（給湯）してください。

2 **担架の殺菌も一緒に行う場合は、担架を浴槽に沈めます。**

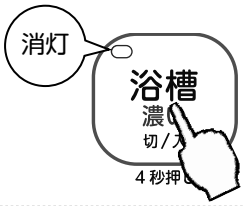
3 **浴槽濃いスイッチを約４秒間長押しします。**

・スイッチの表示ランプが点灯するまで長押ししてください。
自動的に薬液が投入されます。
浴槽水殺菌中でも浴槽殺菌の操作は可能です。

・薬液投入後（約５分後）、浴槽水をよく撹拌してください。
オプションの気泡浴装置付の場合、撹拌が自動的に２度行われます。

・約 10 分後、表示ランプが消灯します。

殺菌を途中で停止する場合は、
浴槽濃いスイッチを再度押してください。

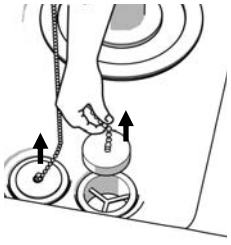


4 **消灯後 3 分以上放置した後に、浴槽水を排水してください。**

・P.49 の浴槽内の清掃方法に従って清掃してください。

参考

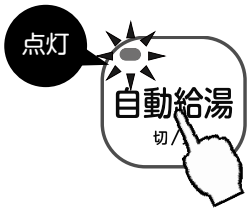
ご使用の浴槽が殺菌装置を搭載していない場合、
P.46「手動での殺菌方法」を参照してください。



浴槽水殺菌

適正水位の湯量に対して約 0.6ppm 分の量の薬液を吐出し、浴槽水(入浴時のお湯)を殺菌します。
昼休み時間(菌の増殖を抑える)や、失禁等によるお湯の入れ替え後に行ってください。

1 自動給湯スイッチを押します。

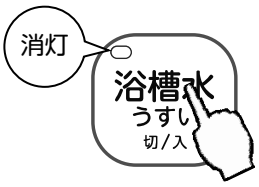


・適正水位（目印）までお湯があることを確認し、不足している場合は給湯してください。

2 浴槽水うすいスイッチを押します。

・スイッチの表示ランプが点灯し、自動的に薬液が投入されます。
・薬液投入後（約 3 分後）浴槽水をよく撹拌してください。
　オプションの気泡浴装置付の場合、撹拌が自動的に２度行われます。
・約 1 時間後、表示ランプが消灯します。

途中で停止するときは
開始から 3 分以内に、もう一度浴槽水うすいスイッチを押してください。



・表示ランプが消灯します。

お願い
・適正水位より少ない場合、殺菌装置は作動しません。
・浴槽水殺菌は、繰り返し操作による薬液濃度の上昇を防止するため、スイッチの操作後、**約１時間は表示ランプが点灯し、再操作ができないようになっています。**（薬液投入後は停止できません）再度、浴槽水を殺菌する場合は、ランプ消灯後に行ってください。

参考 ご使用の浴槽が殺菌装置を搭載していない場合、P.46「手動での殺菌方法」をご覧ください。

参考 「公衆浴場における衛生等管理要領について」 （抜粋）
厚生省(現厚生労働省)通達 (生衛発第 1811 号、H12.12.15)

●適用の範囲：公衆浴場および浴場業

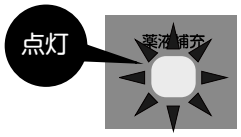
・浴槽の清掃は毎日、消毒は月一回以上行うこと。ろ過装置付きの場合は、ろ過部の消毒および逆洗を週一回以上行うこと。

・浴槽水の消毒に用いる塩素系薬剤の濃度は、遊離残留塩素濃度を 1 日 2 時間以上 0.2～0.4 ㎎/L《ppm》に保つことが望ましい。

操作方法

薬液補充について　※オプション　塩素殺菌装置または水処理システム付きのみ

薬液が少なくなると、薬液補充ランプが点灯します。
点灯した場合は、速やかに薬液を補充してください。
補充は、次の手順で行ってください。



薬液の作り方

次亜塩素酸ナトリウムを 4 倍に希釈し 1.5%溶液を作ります。

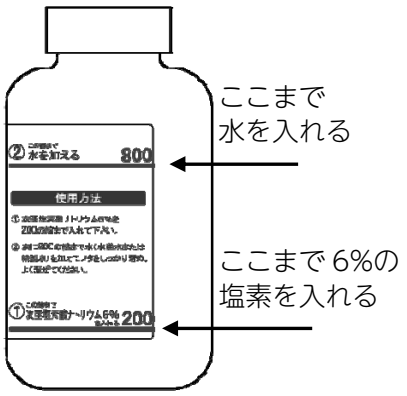
＜用意するもの＞

①付属の希釈ボトル
②市販の 6%次亜塩素酸ナトリウム 200mL
③水道水または精製水 600mL
④保護具（ゴム手袋）

⚠注意　・使用期限内のものを使用する
・弊社指定外の薬液を使用しない

1 **ゴム手袋を着用します。**

2 **付属の希釈ボトルの蓋を開け、市販の次亜塩素酸ナトリウム 6%溶液を 200 の線まで入れます。**



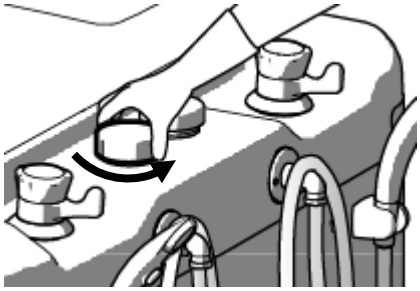
3 **水(水道水または精製水)を 800 の線まで加えます。**

4 **蓋をしっかり閉めて、よく混ぜてください。**

薬液の補充方法

1 電源スイッチを約 2 秒間長押しし、電源を切ります。

2 薬液補充口の蓋を反時計回りに回して開けます。



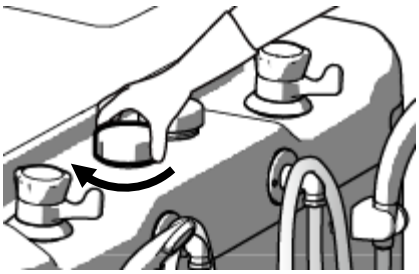
3 希釈した薬液を、こぼさないように薬液補充口に入れます。

> ⚠注意　補充薬液は濃度が 1.5%のものを使用する

参考

薬液タンクは、薬液補充ランプが点灯後、希釈ボトル 1 本分（800mL）補充できます。

4 薬液補充口の蓋を時計回りに回して閉めます。



5 希釈ボトルを水でよく洗浄します。

⚠警告　誤って薬液を飲んだり、目に入ったりした場合は、応急処置後、医師に相談する

⚠注意　・薬液補充の際は注意する

- 十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を着用してください。
- 浴槽を最下位まで下げた状態で行ってください。
- 周囲に薬液がこぼれた場合は水でよく洗い流してください。床やフレーム等の変色や錆の原因となります。
- 希釈した薬液は、1 回毎に使い切り、作り置きはしないでください。
- 空になった容器は、よく洗い流して保管してください。

・薬液が誤って人体または衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流す

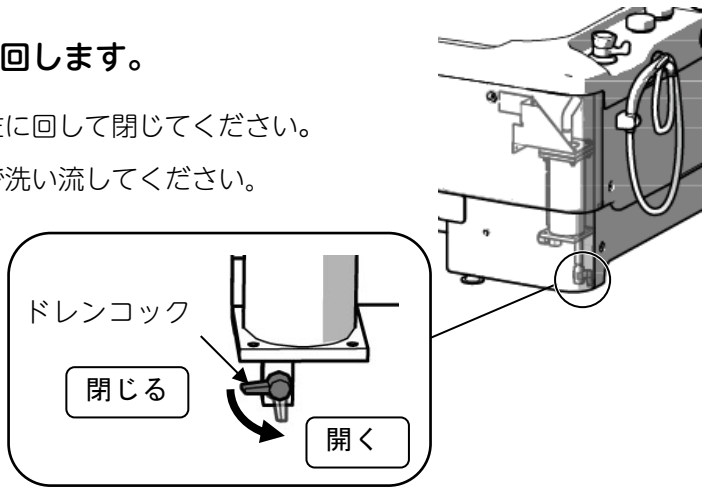
タンク内の薬液の排出

薬液タンク内の薬液は、補充してから 30 日を過ぎた場合、経時変化により殺菌効果が弱くなります。

その際は、下記操作にてタンク内の薬液を排出し、新しい薬液に入れ替えてください。

1 タンク下のドレンコックを下へ回します。

- 薬液排出後は、忘れずにコックを左に回して閉じてください。
- 排出した薬液は、速やかによく水で洗い流してください。



⚠注意　薬液排出の際は注意する

- 十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を着用してください。
- 浴槽を最下位まで下げた状態で行ってください。
- 排出する薬液の濃度は水で十分に薄めてから処理してください。

操作方法

手動での殺菌方法（塩素殺菌装置を搭載していない場合）

薬液の原液には、**次亜塩素酸ナトリウム 6%溶液**を使用してください。
他の薬液を使用したり、他の溶液と混ぜたりして使用しないでください。

浴槽水の殺菌

入浴作業 1 時間毎を目安に実施してください。

作業手順		備考
1	自動給湯で、適正水位になるまでお湯をためる	
2	**6%の次亜塩素酸ナトリウム 5mL** を浴槽へ投入	適正水位の湯量に対して、約 0.6ppm の濃度になります。－弊社推奨値－
3	お湯をよく撹拌	気泡浴機能※を利用します。

⚠注意　入浴中に薬液を投入しないこと

浴槽の殺菌

浴槽を清潔に保つため、入浴作業終了後に下記の手順で殺菌してください。

- 濃度約 1ppm の薬液を浴槽に満たして、浴槽内側と担架を殺菌します。
- 毎日の入浴作業終了後に行うことをお勧めします。

作業手順		備考
1	自動給湯で、適正水位になるまで水（湯）をためる	
2	**6%の次亜塩素酸ナトリウム 8mL** を浴槽へ投入	適正水位の水量に対して、約 1ppm の濃度になります。－弊社推奨値－ **機体に原液が直接かからないように注意してください。**
3	水をよく撹拌	気泡浴機能※を利用します。
4	担架を浴槽の水に浸ける	
5	３分間放置	気泡浴※を 30 秒作動→2 分放置→30 秒作動
6	担架を浴槽から出す	
7	排水する	気泡浴※を作動し、配管内の水を排出します。
8	浴槽と担架をシャワーで水洗いする	薬液をよく洗い落とします。

※オプション 気泡浴装置付きのみ

操作方法

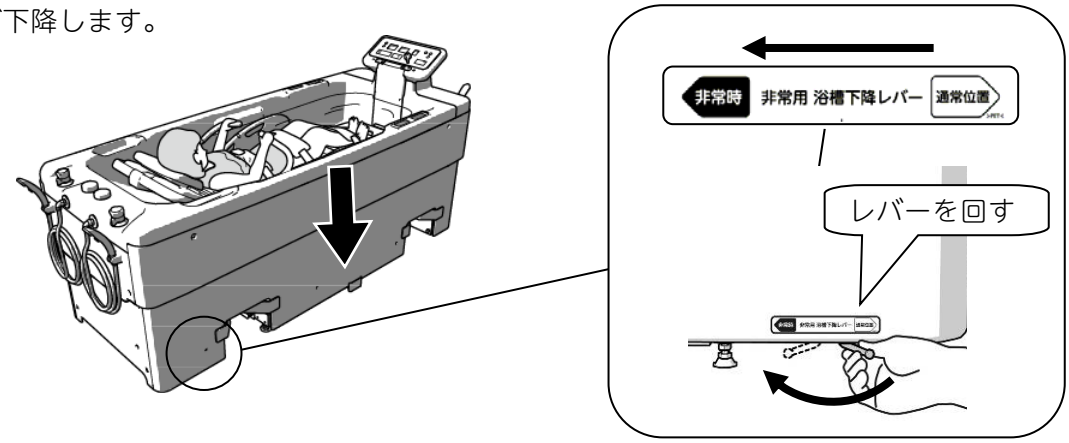
非常時の操作

入浴中、停電または故障により装置が動かなくなったときは、以下の手順で浴槽を下降させ、入浴者を浴槽から出して、入浴作業を中止してください。

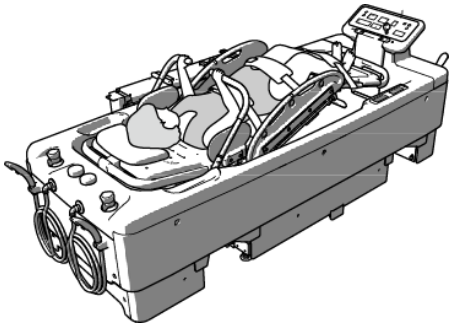
・浴槽の周囲に、浴槽が下がった際に挟み込むものがないかを確認します。

1 **図の位置にある非常用浴槽下降レバーを非常時の方向に回します。**

・浴槽が下降します。



2 **浴槽が最下位まで下降して止まったのを確認し、入浴者を抱きかかえて浴槽の外へ出します。**

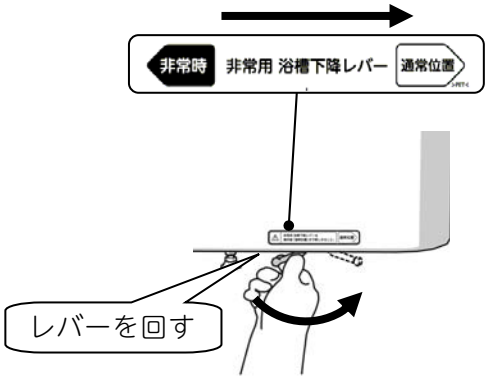


3 **浴室外にある本製品専用のスイッチを切ります。**

お願い

スイッチを切らなかった場合、電源復帰後に誤動作を起こす可能性があります。安全のため、確実にスイッチを切ってください。

4 非常用浴槽下降レバーを通常位置に回します。



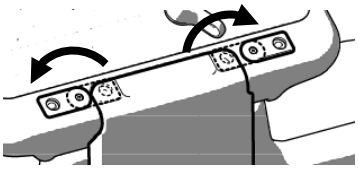
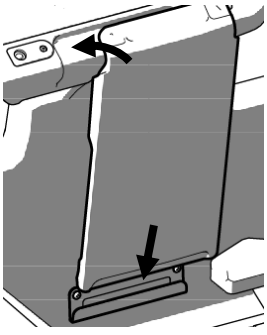
お願い

非常用浴槽下降レバーが非常時の位置にある場合、入浴操作ができません。通常位置まで、確実に戻してください。

日常のお手入れ

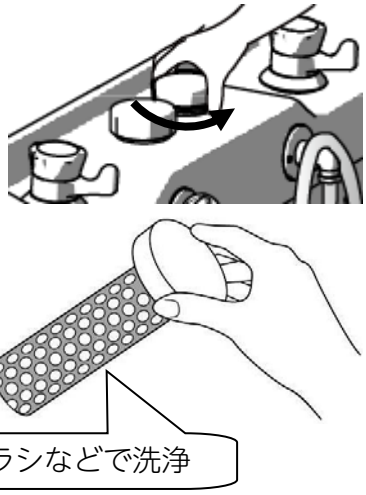
清　掃

1 日の入浴作業終了後は、下記の方法で清掃してください。

部品名	清掃方法
浴槽内	① 浴槽内の 2 か所の排水栓を抜き、排水してください。 ② 付属の『浴槽クリーナーＡ』とスポンジ等の柔らかいもの使用して洗浄し、よく水で洗い流してください。 ③ 気泡発生管内に残った湯を、気泡浴機能を使用して排出してください。（※オプション 気泡浴装置付きのみ） ※レール台付近の清掃の際は、レール台に頭をぶつけないように注意してください。 ※浴槽の排水は、浴槽が下降していないと行えません。 ※ホースやシャワー等で洗浄するのは、浴槽内側だけにしてください。外側、特に操作部には水をかけないでください。 ※浴室床面を洗う際には水がはねかからないように注意してください。 ※本製品は、FRP 製のため、たわし等で擦ると傷がつきます。 ※『浴槽クリーナーＡ』が少なくなりましたら、最寄りの営業所までご連絡ください。
給湯口のカバー	① カバー上部の止め金具を回転させて外します。 ② カバーの内側、給湯口周辺を浴槽内と同様に洗浄してください。 ③ 洗浄後はカバーを元に戻して、止め金具を回転して取り付けてください。  
メイン操作部 入出浴操作部	布で軽く拭く程度にしてください。
スレンレス部 （レール台等）	ステンレス部は水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴を拭いてください。

日常のお手入れ

部品名	清掃方法
ストレーナー※	① 浴槽内のお湯を排水してください。 ② 浴槽の電源を切ってください。 ③ ストレーナーのキャップを反時計回りに回し、上に引き上げます。 ④ ストレーナー部をブラシなどでよく洗浄してください。 ⑤ 洗浄後は元に戻して、キャップを閉めてください。

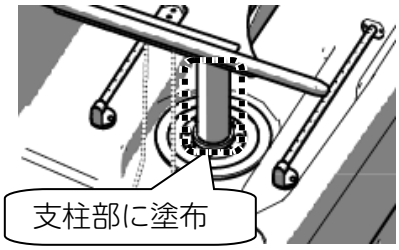


※オプション 水処理システム付きのみ

> ⚠**注意** **ストレーナーの先端でけがをしないように注意**
> 先端が鋭利な場合があります。手などを切らないように注意してください。

メンテナンス

・浴槽レール台の支柱にシリコングリスがなくなった場合は、付属のシリコングリス（信越シリコン G501）を塗布してください。
消耗品に関しては、P.56 をお読みください。



> ⚠**注意** **弊社指定のシリコングリスを使用する**
> 他のグリスを使用すると、故障の原因になります。

・本浴槽は油圧駆動方式を採用しています。オイルタンク内にごみや水分が混入すると故障の原因となりますので、2 年に一度作動油の交換が必要です。
（弊社サービスマンにご用命ください）

このようなときは

まずは次の内容を確認いただき、なお異常があるときは
最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
給湯関係	自動給湯、差し湯スイッチを押しても、浴槽内に給湯できない	●電源は入っていますか？ →①浴室外のスイッチを入れてください。 ②メイン操作部の電源スイッチを約 2 秒間長押ししてください。	P.20
		●適正水位（目印）まで給湯されていませんか？ （自動給湯は、適正水位以上は給湯できません） →適正水位より、さらに給湯したい場合は、さし湯にて給湯してください。	P.23
		●給湯温度が 46℃以上になっていませんか？ （温度管理システムが作動、温度表示が点滅） →給湯温度の設定を下げ、再度自動給湯スイッチを押してください。（給湯温度が 45℃以下に下がった後、浴槽内に給湯されます）	P.23
		●湯・水配管の元バルブが閉じていませんか？ →湯・水配管の元バルブを開けてください。	
	給湯が停止しない （自動給湯ランプの消灯）	●さし湯を行っていませんか？ →差し湯スイッチを押し、さし湯を止めてください。	P.24
		●給湯用バルブのトラブル →湯・水配管の元バルブを閉めた後、最寄りの営業所までご連絡ください。	
	給湯量、または温度が安定しない	●他の設備で大量に湯を使用していませんか？ →使用する時間をずらす等、使用時間を調整してください。 →給湯機の能力アップをご検討ください。	
	自動給湯のランプ、または さし湯のランプが点滅している	●給湯水圧の圧力比が適正範囲外になっていませんか？ →圧力比が一時的な変動の場合、適正範囲内に戻ると、点滅が点灯に変わり正常に戻ります。 点滅が続く場合、または頻繁に点滅する場合は、最寄りの営業所までご連絡ください。	

このようなときは

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
連結関係	ストレッチャー／洗浄台が連結されない	●ストレッチャー／洗浄台の押し込みは足りていますか？ →ストレッチャー／洗浄台を最後まで浴槽に押し付けてください。	P.28 P.30
		●浴槽との位置は合っていますか？（ストレッチャーの場合） →浴槽の位置合わせマークの真横に担架の位置合わせマークが来るように、連結してください。	P.28
		●担架を載せないで分離していませんか？ →ストレッチャー/洗浄台のストッパー部にあるボタンを押しながら、連結操作をしてください。	
	ストレッチャー／洗浄台が分離しない	●担架がストレッチャー/洗浄台に正しく固定されていますか？ →担架を中央に正しく固定してください。 →担架を載せないで、分離したい場合は、ストレッチャー/洗浄台のストッパー部にあるボタンを押しながら、分離操作をしてください。	
昇降関係	入浴スイッチを押しても浴槽が上昇しない	●ストレッチャー／洗浄台は正しく連結していますか？連結完了ランプは点灯していますか？(安全装置が作動している) →正しく連結してください。	P.28 P.30
		●ストレッチャー／洗浄台が両側に連結していませんか？ (両側連結は昇降不可) →片側の連結を解除してください。	
		●浴槽内湯温が 44℃以上になっていませんか？(安全装置が作動、温度表示が点滅) →浴槽内湯温を 43℃以下に下げてください。	P.32
		●担架は正しく固定していますか？ →担架の位置を確認し、正しい位置に固定してください。	
		●非常用浴槽下降レバーが非常時の位置にきていませんか？ →通常位置まで、レバーを確実に戻してください。	P.48

このようなときは

	このようなとき	ここを確認してください	参照ページ
昇降関係	出浴スイッチを押しても浴槽が下降しない	●入浴中に電源を落としていませんか？ →電源を入れてください。	P.20
		●ストレッチャー／洗浄台は正しく連結していますか？連結完了ランプは点灯していますか？ →正しく連結してください。	P.28 P.30
	作動時に異音がする	●レール台支柱のグリスが切れていませんか？ →指定箇所に付属のグリスを塗布してください。グリス切れでは無い場合は、最寄りの営業所までご連絡ください。	P.50
	浴槽の上昇スピードが遅い 入浴中に浴槽が次第に下降する	●非常用浴槽下降レバーが完全に通常位置まで戻っていますか？ →通常位置まで、レバーを確実に戻してください。	P.48
気泡浴※	気泡浴が作動しない	●塩素殺菌中ではありませんか？ →塩素殺菌を停止させるか、塩素殺菌終了後に、気泡浴を使用してください。	
塩素殺菌※	薬液補充ランプが消えない	●薬液が補充されていますか？ →薬液を補充してください。 →薬液タンクのドレンコックは閉じてください。	P.43 P.45
	浴槽水・浴槽殺菌が作動後、すぐに停止した	●作動後に適正水位より水位が下がっていませんか？ （適正水位より水位が下がると、殺菌が自動停止します。） →適正水位まで給湯し、再度操作してください。	
その他	シャワーヘッドから水が漏れる	●開閉ボタンの操作のみでシャワーを止めていませんか？ →開閉ボタンを「開く」状態にして、流量調節ハンドルでシャワーを止めてください。 （開閉ボタンの操作のみで長時間止水させると、水漏れの原因となります。）	P.39
	シリコングリスを使い切った	→弊社指定品のご購入をお願いします。	P.56
	殺菌用の薬液(原液)を使い切った※	→弊社推奨品のご購入をお願いします。	P.56

※オプション 塩素殺菌装置または水処理システム付きのみ

このようなときは

メイン操作部の表示

このようなときは	ここを確認してください
いずれかの温度表示が E0 または E1 を点滅表示している	●温度センサーの故障 →最寄りの営業所までご連絡ください。
給湯温度表示が E2 を点滅表示している	●水位センサーの故障 →湯が出続けているときは施設側の元バルブを閉め、最寄りの営業所までご連絡ください。
給湯温度表示が E3 を点滅表示している	●排水栓近くの目皿がふさがっていませんか？※ →ふさいでいる物を取り除いてください。 連続して「E3」を表示する場合は、最寄りの営業所までご連絡ください。
給湯温度表示が E5 を点滅表示している	●担架位置の異常 →担架が浴槽内にある場合は、一度出浴操作をし、再度担架を入れなおしてください。 連続して「E5」を表示する場合は、最寄りの営業所までご連絡ください。
浴槽に担架を入れ入浴スイッチを押したときに、温度表示が bb bb を表示する	
給湯温度表示が E6 を点滅表示している	●チルト上昇の異常 →出浴またはチルト戻すスイッチを押してチルトを上限にしてください。連続して「E6」を表示する場合は、最寄りの営業所までご連絡ください。
給湯温度表示が E8 を点滅表示している	●機器の起動が所定の時間内に完了しなかった。(約 50 秒以内) →メイン操作部の電源を切り、再度電源を入れてください。連続して「E8」を表示する場合は、最寄りの営業所までご連絡ください。
給湯温度表示が E9 を点滅表示している	●非常用浴槽下降レバーが完全に通常位置まで戻っていますか？ →上昇速度の低下による表示です。通常位置まで、レバーを確実に戻してください。
	●昇降装置の異常 →メイン操作部の電源を切り、再度電源を入れてください。連続して「E9」を表示する場合は、最寄りの営業所までご連絡ください。

※オプション 水処理システム付きのみ

機器について

保守・点検について

・本製品を使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず P.17 の始業点検（日常点検）および定期点検（月 1 回程度）を実施してください。

・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。

・**点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。**

・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 定期点検項目　（月に 1 回程度、以下の定期点検を行ってください）

区分	点検内容	点検方法
設備	・排水溝内のごみの有無と排水の流れの状態	・目視（ごみがあれば除去し清掃する）
外観	・湯および水配管からの漏れ	・浴槽下を覗いて、床に漏れた跡がないことを確認
	・薬液配管からの漏れ※	
	・シャワーホースとシャワーヘッドの破損	・目視
(浴槽動作時) 機能	・給湯温度の表示	・市販の棒状温度計で給湯口の吐出湯温を測定し、表示と比較する （表示差±1℃以内が正常）
	・浴槽内温度の表示	・十分に湯を撹拌した後、棒状温度計で浴槽内の湯温(水深 25 ㎝程度の位置)を測定し、表示と比較する （表示差±1℃以内が正常）
	・非常用浴槽下降レバー	・浴槽が下降した状態で、非常用浴槽下降レバーを非常時方向に動かした後、通常位置に戻す動作を行い、レバーが可動することを確認

※オプション 塩素殺菌装置または水処理システム付きのみ

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

機器について

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも有償修理とさせていただく場合があります。
- 保証期間は 1 年です。ただし本体フレームおよび FRP 部品は 5 年間です。保証の規定につきましては保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

- 修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。

  機種名　　：　浴槽　*SYB-100*
  お買い上げ：　　年　月　日
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決してカバーを開けたり、機器を分解したりしないでください。

耐用期間

10 年：保守点検などの弊社推奨環境で使用された場合

消耗品（使用により、量などが減少していくもの）

シリコングリス （弊社指定品：信越シリコン G501）	浴槽クリーナーA	次亜塩素酸ナトリウム 6%溶液※ （弊社推奨品：ピューラックス　濃度 6%）
 駆動部支柱　塗布用		

補充は、お客様により実施願います。

※オプション 塩素殺菌装置または水処理システム付きのみ

機器について

損耗品（使用により、摩耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

シャワーヘッド
作動油

（オプション）

薬液ポンプの継手配管※
薬液チューブ※

※オプション 塩素殺菌装置または水処理システム付きのみ

・正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

シャワーホース
給湯・給水ホース
排水ホース

損耗品の交換時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

機器について

仕　様

型　　式		SYB-100C、SYB-100R、SYB-100L
外形寸法(長さ×幅×高さ)		2510×980×890～1190 ㎜
浴槽内寸法(長さ×幅×深さ)		1940×745×550 ㎜
湯　　量		約 495 リットル
実使用湯量		約 375 リットル
質　　量		約 450 kg
最大使用者体重		100kg
電　　源		3 相 200 V　(50Hz/60Hz)　15 A
電　　力		640W/740W　(50Hz/60Hz)
電源入力		1100VA　(50Hz/60Hz)
材　　質	フレーム	スチール
	レール台	ステンレス
	浴槽・カバー	FRP
昇降機能	昇降方式	電動油圧リフター方式：200V 400W
	昇降ストローク	300mm
主な機能	自動給湯システム	適正水位自動停止
	安全装置	インターロック機構、担架スライド防止、ブレーカー、 温度管理システム（高温給湯停止、浴槽内高温時上昇停止）
	その他	電動ミキシング、デジタル温度計、入浴時間表示、 ハンドシャワー専用シャワー水栓、非常用浴槽下降レバー
付属品		浴槽クリーナーA、アワスプレー、シリコングリス、ハケ

オプション

型　　式	SYB-10	SYB-20	SYB-30
機　　能	エアポンプ： 単相200V80W	殺菌方法：塩素 薬液ポンプ：DC12V	殺菌方法：塩素 薬液ポンプ：DC12V 循環ポンプ：単相 200V65W
付属品		次亜塩素酸ナトリウム 6% 溶液・600ml、希釈ボトル	次亜塩素酸ナトリウム 6% 溶液・600ml、希釈ボトル

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。